

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	生涯学習の機会充実	コード	作成者	役職	生涯学習課
		02-02-06		氏名	大道健一
			電話	64-1841	
			このシート作成に要した時間	1.5	時間

この施策の アピール ポイント	生涯学習の成果を発揮し地域に還元する場として、学校支援ボランティアがあり、学校・家庭・地域の連携による教育支援活動として定着しつつあります。また、子どもの読書活動の推進を目的として、関係者の資質向上やネットワークの構築をめざした取り組みもなされています。
-----------------------	---

この施策の 平成26年度の 施政方針	学校と連携した教育支援活動の推進と生涯学習ボランティアを養成していくとともに、生涯学習関係機関及び社会教育関係団体と連携して家庭教育及び体験活動への参加を推進していく。
--------------------------	--

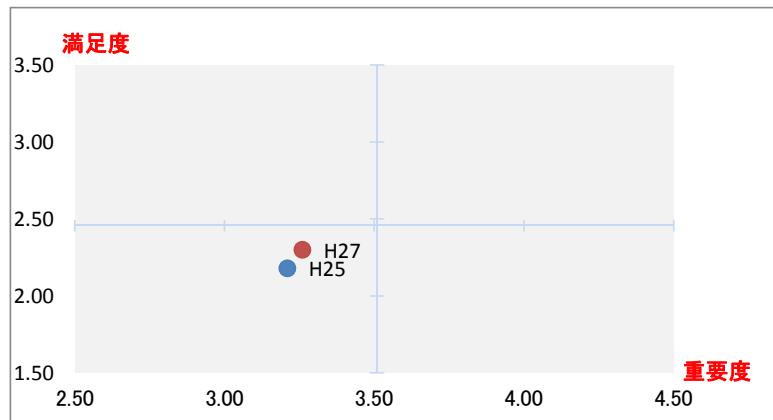
<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	自己実現施策「生涯学習、歴史、文化」
	基本計画 (中項目)	自分を磨ける・自分を変えられるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	全ての市民が様々な機会や場を活用し、自らの学習意欲を満たし、生活を豊かにする。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	心豊かで生きがいのある人生をおくるため、学びのニーズに合った学習機会の提供が求められるが、情報化、国際化、少子高齢化などの社会変化や生活様式の変化によりニーズは刻々と変化している。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援の推進 学習意欲の誘導 学習の成果を発揮する場の提供 学習活動の深化 情報の収集と提供 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度 (%)		3.21	3.26
満足度 (%)		2.18	2.30

《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	重要度、満足度ともにやや低い傾向となっている。実施事業の充実と一般への周知に努める必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H24	H25	H26			H27	H28
成果指標 自発的な学習に取り組んだり、趣味の会やサークル活動に参加している市民の割合【市民意識調査】	目標	%	35.0	35.0	35.0	市民意識調査結果 (H26は未実施)	H27	35.0
	実績	%	32.0	—	34.0		H28	35.0
	達成率	%	91.4	#VALUE!	97.1		H34	40.0
	ベンチマーク						—	—
参考指標① この1年で何らかのボランティア活動を行ったことがある市民の割合	目標	%	50.0	50.0	50.0	市民意識調査結果 (H26は未実施)	H27	50.0
	実績	%	35.9	—	39.6		H28	50.0
	達成率	%	71.8	#VALUE!	79.2		H34	50.0
	ベンチマーク						—	—
参考指標② 学校支援地域本部事業実施校数	目標	校	9	9	10	学習の成果を発揮する場の数として学校支援地域本部実施数を指標とした	H27	11
	実績	校	7	8	10		H28	11
	達成率	%	77.8	88.9	100.0		H34	12
	ベンチマーク						—	—
参考指標③ 学校支援ボランティアの人数	目標	人	400	500	600	学習の成果を発揮した人数として学校支援ボランティアの数を指標とした	H27	700
	実績	人	397	550	654		H28	700
	達成率	%	99.3	110.0	109.0		H34	1,000
	ベンチマーク						—	—

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
学校教育課	備前まなび塾	関係者の連携と情報交換・情報共有による安全で健やかな学習環境づくり
学校教育課	放課後サポート事業	関係者の連携と情報交換・情報共有による安全で健やかな学習環境づくり
こども課	放課後児童健全育成事業	関係者の連携と情報交換・情報共有による安全で健やかな学習環境づくり

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	子どもたちへの支援を通じて、学びの成果を地域へ還元する場のひとつとして学校支援地域本部事業を実施している。子どもたちへの豊かな支援のためにも事業趣旨を周知・広報し、多様な多くの人材の参画に留意している。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	学校支援地域本部事業では様々な市民の方々が事業に参画いただけるよう、様々な支援カテゴリを設けている。また、まなび塾での学習支援や子どもの読書活動支援等、多面的に参画の窓口を設けている。今後は参加者の一層の拡充に向け、広報活動並びに研修等機会の提供に取り組んでいく必要がある。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	意識調査では自発的な学習への取組み割合、何らかのボランティア活動への取組み割合は上昇しているが、年度によりばらつきも見られ、今後も推移を見守っていく必要がある。市民の参画を一層促すため、活動しやすい事業を検討していく。	
進行年度 (H27年度) の取組内容 (課題解決状況)		学校支援地域本部事業は、学校統廃合や小中一貫校の動きをにらみつつ、追加実施に向け、未実施校への働きかけを行う。また事務の省力化を推進し、実施校の負担軽減に努める。	
翌年度 (H28年度) の取組目標		学校支援地域本部事業の量・質の拡充を図るとともに、備前まなび塾等類似事業との調整を図る。また、NPO等との協働も一層進め、支援の質の向上にも取り組みたい。	
二次評価者コメント		従前の枠組みに囚われず、学校支援地域本部事業・備前まなび塾・放課後サポート事業・放課後児童健全育成事業などを再整理し、現在の備前市において実効性の高い組織改編を計画・主導することを期待します。別葉の「家庭教育の支援と青少年教育の充実」とも包括的に考えて、今日的なコミュニティスクールを模索して欲しいと考えます。	基本施策への貢献度 4 やや高い
役職	教育部長		
氏名	谷本 隆二		

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円、人）										施策への 貢献度	
			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
01	生涯学習管理運営事業	生涯学習課管理運営事業	単市	491	193	0.02	367	238	0.03	436	189	0.02	571	☆☆☆☆
		社会教育委員活動事業	単市	183	499	0.05	158	486	0.05	206	404	0.04	252	☆☆☆
		社会教育指導員活動事業	単市	1,396	0	0.00	1,384	0	0.00	1,384	101	0.01	1,418	☆☆☆☆
02	奨学資金貸付事業	奨学資金貸付事業	法定	5,400	998	0.10	6,600	992	0.10	3,602	989	0.10	5,883	* 法定事務
03	生涯学習推進事業	学校支援地域本部事業	補助	1,800	2,115	0.26	2,350	2,676	0.32	2,590	1,780	0.19	2,590	☆☆☆☆
		人材養成講座事業	単市	36	79	0.01	14	0	0.00	31	282	0.03	42	☆☆☆
		子ども読書活動推進事業	単市	0	2,258	0.27	0	1,348	0.16	0	1,606	0.17	0	☆☆☆☆
		教育の日関連事業	単市	81	1,044	0.11	88	812	0.10	42	757	0.09	0	☆
		成人式運営事業	単市	347	2,111	0.23	387	1,793	0.22	375	1,361	0.16	493	☆☆
		備前市PTA連合会補助事業	単市	80	185	0.02	80	238	0.03	80	241	0.03	80	☆☆
		備前市婦人協議会補助事業	単市	216	279	0.03	216	238	0.03	216	161	0.02	216	☆
この施策に費やした資源（単位：千円、人）			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度								
			10,030	9,761	1.10	11,644	8,821	1.04	8,962	7,871	0.86	11,545		

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	平成3年度～	根拠法令・例規等	社会教育法
総合計画	大項目 基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問 担当課(室)	生涯学習課生涯学習係
	中項目 基本計画	02	自分を磨ける・自分を変えられるまち		
	小項目 施策	06	生涯学習の機会充実		
事務事業名		01	生涯学習管理運営事業	合先 職・氏名	係長 浅野隆之
				電 話	64-1841
				このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	社会教育・生涯学習関係団体や熟年代及び次世代を担う青少年等。	
目的 (何のために)	自らの実生活に即した幅広い学習ができる環境の整備と社会教育及び生涯学習振興の気運を醸成する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	市民一人ひとりが自らの実生活に即した幅広い学習に取り組み、心豊かで生きがいのある地域社会を構築する。	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	生涯学習管理運営事業	生涯学習を推進すべく情報提供や調査活動等の業務及び公用車の維持管理業務。	○
	社会教育委員活動事業	社会教育(学校教育以外で主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動)に関し、教育委員会へ助言することを目的とした社会教育委員の活動に関する事業。	◎
	社会教育指導員活動事業	教育一般に豊かな識見を有し、かつ社会教育に関する指導技術を身に付けている指導員が人権教育について直接指導を行う。	○

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	直接事業費	千円	2,070	1,909	2,026
	必要人員	人件費	千円	0.07人	0.08人	0.07人
	事業費	事業費	千円	2,762	2,633	2,720
	財源	国	支出金			
		市	受益者負担			
		繰入金				
		その他()				
	一般財源		千円	2,762	2,633	2,720
	受益者負担比率	%		-	-	-
結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績		
社会教育委員の会議研修会参加者数	説明	社会教育委員の会議、研修会への参加者延べ人数				
結果指標	対前年比	%	30	26	31	
活動コスト	円	160,700	136,040	177,480		
単位当たりコスト	円	5,357	5,232	5,725		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成26年度事業)

事業の成果	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
人権教育・啓発に係る連携事業参加者数	目標値(A)		180	180	180	180
	実績値(B)		130	137	156	到達目標値
	達成率(B/A)		72.22%	76.11%	86.67%	90
成果指標設定の考え方・式や説明						
人権教育事業について、まちづくり推進課との連携事業を社会教育指導員を中心として推進し、より効率的な事業としていく。「備前市人権教育・啓発研修会」および「備前市人権教育推進委員会研修会」参加者数。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い や普通や低い 高い
	必要性	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普通や低い や普通や低い 高い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い や普通や低い 高い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	C

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

進行年度(H27年度)の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
説明	社会教育委員には、優れた見識と豊かな経験を持つ方に就任いただいておりますが、新しい社会教育施策や制度について等、常に新しい見識を吸収していただくことも必要となるため、県の主催する研修会等に積極的に参加していただくよう働きかけていく。														

総合評価	社会教育指導員は人権教育推進委員会の運営、PTA人権教育・地区人権教育の委託事業等の実施のほか、人権教育セミナーでのまちづくり推進課や関係機関との連携による事業実施も行った。また講師として市内の企業や公民館などに出向いての教育啓発活動も行っており、積極的にPRし引き続き実施していく。	総合評価 A B C D E 高や普通や低い や普通や低い 高い	C
------	--	--	---

平成28年度の方向性・取組目標															
方向性	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
取組目標	社会教育指導員は人権教育推進委員会の運営、PTA人権教育・地区人権教育の委託事業等の実施のほか、人権教育セミナーでのまちづくり推進課や関係機関との連携による事業実施も行った。また講師として市内の企業や公民館などに出向いての教育啓発活動も行っており、積極的にPRし引き続き実施していく。														

Action

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	平成17年度(新備前市分)	根拠法令・例規等	備前市奨学金貸付規則
総合計画	大項目 基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問 担当課(室)	生涯学習課生涯学習係
	中項目 基本計画	02	自分を磨ける・自分を変えられるまち		
	小項目 施策	06	生涯学習の機会充実		
事務事業名		02	奨学金貸付事業	合 職・氏名	係長 浅野隆之
				先 電 話	64-1841
				このシート作成に要した時間	1.5 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	経済的理由により修学が困難な高校生・大学生。	
目的(何のために)	経済的理由により修学が困難な者に奨学金の貸付を行い、高校・大学での修学を支援することにより、将来社会に貢献し得る有為な人材を育成することを目的とする。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	社会に有為となる人材が経済的理由により、進学や修学の継続を断念することが無い状態。	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	事業名	事業の説明	優先度
	奨学金貸付金事業	第一種奨学金：高校生月学1万円、大学生に月額2万円を無利子で貸し付ける。 第二種奨学金：高校生に月学3万円、大学生に月額5万円を年利3%以内で貸し付ける。 卒業後10年間で償還をしていただく。	◎

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	
	事業費	直接事業費	千円	2,070	1,909	3,602	
	必要人員	人員件数	千円	0.07人	0.08人	0.10人	
	事業費計			2,761	2,633	4,590	
	財源	国	支出金	千円			
		受	益者負担				
繰		入金					
市	債						
その他()							
一	般財源		2,761	2,633	4,590		
受	益者負担比率	%	-	-	-		

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	奨学金新規貸付人数	説明	奨学金新規貸付人数		
	対前年比	%	6	5	
	活動コスト	円	2,880,000	2,280,000	240,000
	単位当たりコスト		480,000	456,000	240,000

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		(平成26年度事業)				
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
奨学金返還金収納率(現年分)	目標値(A)	97	97	97	92	
	実績値(B)	89	84	87	到達目標値	
	達成率(B/A)	91.75%	86.60%	89.69%	100	
成果指標設定の考え方・式や説明						
返還金収納額/返還金調定額 奨学金返還金を財源にする健全な奨学金制度を維持するため、返還金の収納率を指標とする。また、滞納分についても引き続き収納に努める。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い いや通やいい 高い低い
		<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		
必要性	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 現在の市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	B
		<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	C
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている		
目的達成度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い いや通やいい 高い低い
		<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	C
		<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	<input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	C
		<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	C
		<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	C
		<input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	C
		<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	C
		<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	C
		<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
		<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	C
		<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである	C
		<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	C
		<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい	C
		<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	C
		<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 事業についてはNP0、ボランティア団体等が参画している	C
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 事業についてはNP0、ボランティア団体等が参画している	C
		<input type="checkbox"/> 事業についてはNP0、ボランティア団体等が参画している		

進行年度(H27年度)の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
説明	平成27年度も新規奨学生を、第一種4名程度、第二種4名程度の募集を行っている。														

総合評価		Action
奨学金制度は、経済情勢により利用者は増減している、長期間の経済の低迷に伴い貸付金の滞納者も増加しており、社会問題として新聞報道などでも報じられています。市においても、対象者の状況把握と収納率の向上を図っていくことが課題となっています。	総合評価 A B C D E 高や普通や低い いや通やいい 高い低い	C

平成28年度の方向性・取組目標															
方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
取組目標	奨学金貸付制度は、主に経済的理由により進学、修学が困難な学生を支援し、将来社会に貢献し得る人材を養成することを目的とするものであるから、市の関与は妥当であると考えられる。ただし、日本学生支援機構をはじめ岡山県、民間、大学等で独自に設けられているものなど各種の貸付制度があり、貸付対象者の範囲や金額など市がどの程度まで関与するかについて、必要に応じて見直しも検討する。														

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

備前市事務事業評価シート

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	昭和46年度～		
総合計画	大項目 基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」
	中項目 基本計画	02	自分を磨ける・自分を変えられるまち
	小項目 施策	06	生涯学習の機会充実
事務事業名	03	生涯学習推進事業	
問	担当課(室)	生涯学習課生涯学習係	
合	職・氏名	係長 浅野隆之	
先	電話	64-1841	
このシート作成に要した時間			1.5 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	自己実現を図るため、生涯学習全般に興味関心のある市民及び家庭教育の充実を図る為の学習意欲のある保護者や関係諸団体等。	
目的(何のために)	いつでも、どこでも、誰でもが学びながら、社会の中で自己実現を図っていくため、学習機会の提供を行い、生きがいのある明るく充実した地域社会の実現を目指す。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民一人ひとりが生涯にわたる学習活動を通じて自己の人格を磨くとともに、学びの成果を生かして地域課題の解決や地域の子育てに関する取組に参加する等、個人の豊かな学びと「地域力」の形成が循環する生涯学習社会の構築を図る。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名			
	学校支援地域本部事業	地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図ることを目的とした事業。		◎
	人材養成講座事業	生涯学習の推進に携わるボランティアを対象に、地域におけるリーダーの人材を養成する。		○
	子ども読書活動推進事業	ひぜん子ども読書ネットワークのボランティアの方を対象とした実践力向上のための研修やボランティア同士の情報交換と交流を図るとともに、その学習成果を学校園や図書館、公民館等で発揮することや「ひぜん子ども読書まつり」を開催し、備前市における子どもの読書活動の啓発推進をめざす事業。		◎
	教育の日関連事業	教育に対する認識を高めるとともに、学校教育及び生涯学習の振興の気運を醸成し、その充実と発展を図ることを目的とした事業。		▲
	成人式運営事業	社会人になったことを自覚し、自らの努力で人生を切り拓こうとする新成人を祝い励ますことを目的として成人式を行う。		○
	備前市PTA連合会補助事業	備前市PTA連合会に補助金を交付し、PTA活動に要する経費の一部を補助すること、県教育委員会関係の各種研修会案内と参加を促進し、会員の学習機会の提供を行う		◎
	備前市婦人協議会補助事業	備前市婦人協議会に補助金を交付し、婦人会活動に要する経費の一部を補助することと事務支援を行い、研修による会員の修養、ボランティア活動などの社会参加による地域のまちづくりに貢献する		○

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績									
決算額	事業費	千円	2,560	3,135	3,334									
	必要人員	人	0.93人	0.86人	0.69人									
	事業費	千円	10,631	10,240	9,522									
	計													
財源	国	千円												
	県													
	支													
	出													
受	益													
	者													
	負													
	担													
一	般													
	財													
	源													
	計													
受	益	者	負	担	比	率	%							
結	果	指	標	名	単	位	平	成	2	4	年	度	実	績
結果指標	学校支援ボランティア登録数	説明	各学校支援ボランティア登録数											
	結果指標量		397	550	654									
	対前年比	%	-	138.5%	118.9%									
	活動コスト	円	1,800,000	2,350,000	2,590,000									
単	位	当	た	り	コ	ス	ト	円	4,534	4,273	3,960			

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成26年度事業)

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
学校支援地域本部実施校数	成果指標名	目標値(A)	9	9	10	11
		実績値(B)	7	8	10	到達目標値
		達成率(B/A)	77.78%	88.89%	100.00%	100
成果指標設定の考え方・式や説明						
学校支援地域本部事業を実施する学校数を指標とし、その取り組みを広げていくことを目指します。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している		

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H27年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況			○						
	説明	学校支援地域本部事業については、本部の数及び学校数は昨年と同じで、3中学校、7小学校で実施される。各本部の実態に応じた事業が展開されるよう支援していく。							

総合評価		学校支援地域本部事業は、平成23年度から補助事業となり、実施校も年々着実に増加している。子ども読書活動については、26年度に「備前市子ども読書活動推進計画」の改訂を行い、官民協働による子どもの読書活動を一層推進する。		総合評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い					
Action									
平成28年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標			○						
		規模が拡大した学校支援地域本部事業を核に市民の学習機会やその成果を発揮する場を整備し、地域の教育力の向上や活性化をめざす。							